

## 努力直線と発達曲線

主幹教諭 鈴木 耐

以前、ある保護者から、「うちの子は、毎日の学習を継続しているのですが、なかなか定着しないのですが。」との相談がありました。

「継続は力なり」

とよくいわれます。これは、実に深い意味がある言葉です。しかし現実には、毎日毎日努力しても成果が見えないことがあります。むしろ、そのほうが多いことでしょう。

では、どうしてそうなるのでしょうか。

実は、発達には毎日努力を蓄積していけば、それに比例して上達していくというものではないのです。右記の図のように、顕著な発達は突然訪れます。

自転車の場合を例にとりて説明しましょう。

初めて自転車に乗った時は、転んでばかりでなかなか上手にはなりません。家族に後ろを持ってもらって、毎日練習してもなかなか上達しません。

それでも毎日練習していると、ある日突然、5～6m走れるようになります。そこからは飛躍的に成長していきます。もっと長く走れるようになり、止まれるようになり、左右へ曲がれるようになり…。

こんな思い出は、誰にでもあることでしょう。

つまり、「壁」を越えたわけですね。「壁」とは、

発達曲線が急上昇する直前の状態(努力を蓄積しているにもかかわらず、発達が目に見えてこない状態)のことです。

先ほど紹介した相談例は、まだ発達曲線の水平に近い部分にいるのでしょうか。ですから、あきらめず、それぞれ「継続は力なり」で努力を続けて欲しいと思います。その壁は必ず訪れ、越える日がきます。

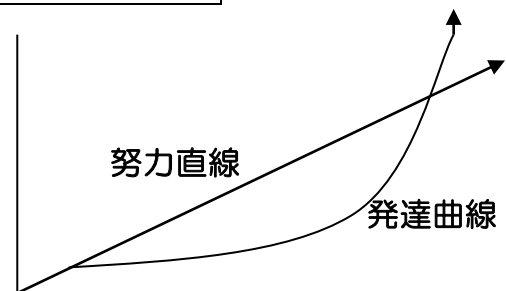
「継続は力なり」

何より毎日続けることが大切です。

もうすぐ2学期末になります。終業式には、通知票「のびゆく子」を渡します。お子様の学習状況をご覧いただけましたら、ぜひ、上記のことを頭に入れて、お子様とお話してください。

良い結果であったときは、これまでの毎日の努力の継続が結果に結びついたことをほめてあげてください。毎日努力を継続しているのに、結果に表れていない場合は、それは成長途上であることと理解し、ここまでの努力を認め、今後のお子様の毎日の努力を応援してあげてください。

努力と発達の関係



「とっておきの父親学-わが子の能力を伸ばす「コツ」全公開-」  
(向山洋一 著)より

## <インフルエンザ・風邪の予防>

三小ではインフルエンザによる学級閉鎖がありました。近隣校でも学級閉鎖が始まっています。外出後などの手洗いの徹底、規則正しい生活の確保など、児童の体調管理にご留意ください。また、症状がみられる場合は、早めに休養をとらせるとともに、受診、咳エチケットの励行、マスクの着用、外出の自粛などにご配慮ください。